

# 青森県

モデル圏域 津軽圏域

誰もが安心して自分らしく暮らせる  
地域を目指して

青森県では、精神障害にも対応した構築支援事業を取り組むにあたり、県内でも保健、医療、福祉関係者による顔の見える関係の構築が進んでいる津軽圏域をモデル圏域に選定し、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを始めます。

## 1 圏域の基礎情報

## 基本情報

市町村数（H30年4月時点）	8	市町村			
人口（H30年4月時点）	282,634	人			
精神科病院の数（H30年4月時点）	5	病院			
精神科病床数（H30年4月時点）	894	床			
入院精神障害者数 （H29年6月時点）	合計	796 人			
	3か月未満（％：構成割合）	209 人 26.3 ％			
	3か月以上1年未満 （％：構成割合）	116 人 14.6 ％			
	1年以上（％：構成割合）	471 人 59.2 ％			
	うち65歳未満	198 人			
	うち65歳以上	273 人			
退院率（H28年6月時点）	入院後3か月時点	60.3 ％			
	入院後6か月時点	86.0 ％			
	入院後1年時点	91.7 ％			
相談支援事業所数 （H29年10月時点）	基幹相談支援センター数	0 か所			
	一般相談支援事業所数	11 か所			
	特定相談支援事業所数	30 か所			
保健所数（H30年4月時点）	1	か所			
（自立支援）協議会の開催頻度（H29年度）	（自立支援）協議会	0 回/年			
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（H30年4月時点）	障害保健福祉圏域	◎・無 1 か所			
	市町村	◎・無 4 か所			
	3ヶ月未満入院者数	3か月以上1年未満入院者数	1年以上入院者数	政策効果による地域移行数（目標値）	合計
平成27年6月末	202 人	104 人	465 人	人	771 人
平成28年6月末	191 人	119 人	460 人	人	770 人
平成29年6月末	209 人	116 人	471 人	人	796 人
平成32年度末	人	人	人	96 人	人
平成36年度末	人	人	人	- 人	人

## 2 圏域の取組における強みと課題

### 【特徴(強み)】

- ・日頃の精神保健業務のつながりから、保健所と精神科医療機関の連携体制がある。
- ・相談支援事業所とも日頃からケースを通じたつながりが多くはないがある。
- ・保健所長が事業の必要性を理解し行動している。 ・前向きな相談支援事業所と医療機関がある。
- ・地区担当保健師等が管内市町村への自立支援協議会へ参加している。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する視点別の認識(取組)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所の人的予算的資源不足</li> <li>・精神科病院長の運営方針への介入の難しさ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院管理者が地域移行について理解する</li> <li>・支援関係者が共通認識を持つために、好事例の共有化により地域移行のイメージ化を図る。</li> <li>・地域移行を周知するためのポスターやパンフレットを作成する。</li> <li>・支援関係機関のネットワークができ、支援体制が構築される。</li> </ul>	行政側	・協議の場において議論の前提となる課題抽出を行うための分析作業を行い、関係者間での共有を図る。
		医療側	
		事業者側	長期入院患者の退院支援に際して、必要と考えられる社会資源や施策について提案を行う。
		関係機関・住民等	

課題解決の達成度を測る指標	指標の設定理由	現状値	目標値(H30)
①協議の場において提案され、関係者による合意を得た施策	課題を解決するために提案された施策のうち、関係者による合意を得た施策は実現可能性が高いため。	—	—
②			

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

### 3 精神障害にも対応した地域包括ケアの構築支援事業 実施前の課題・実施後の効果等

#### 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業 実施前の課題

・平成27年度から実施している地域生活支援広域調整会議において、保健、医療、福祉関係者により顔の見える関係を構築してきたが、地域移行の推進のための具体的な施策（ピアサポーターの養成、退院支援プログラムの作成等）の実施までには至らなかった。

#### 平成29年度の実施による効果・成果（数値化できるものは数値化して記載）



※平成29年度事業に参加自治体のみ記入

## 4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成30年度の取組スケジュール

### 平成30年度の到達目標

1. 保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置し、地域の現状と課題についての理解を深めながら具体的な施策を検討・実施する。

時期(月)	実施する項目	実施する内容	該当する目標番号
H30年5月	第1回関係者打合せ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構築支援事業、推進事業について関係者に説明</li> <li>・病院関係者等への説明と事業への協力依頼</li> <li>・今年度の取り組みを協議、事業計画立案、予算立案(広域AD参加)</li> </ul>	1
6月	病院説明		1
7月	第2回関係者打合せ会		1
8月	ピアサポーター視察研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密着ADによる視察を実施しピア雇用のノウハウを学ぶ</li> <li>・ピア養成研修の内容の検討</li> </ul>	1
9月	第3回関係者打合せ会		1
10月	ピアサポーター養成研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピア養成研修の実施</li> </ul>	1
11月	第4回関係者打合せ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケア会議による課題の検討、進捗状況の確認</li> <li>・地域生活支援広域調整会議の内容の検討</li> </ul>	1
H31年1月	第5回関係者打合せ会		1
2月	地域生活支援広域調整会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者を対象とした研修会の実施(広域AD参加)</li> </ul>	1
3月	第6回関係者打合せ会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の取り組みのまとめと来年度に向けての課題整理</li> </ul>	1